令和6年度

動物実験に関する自己点検・評価報告書

新潟工科大学

令和7年5月

I. 規程及び体制等の整備状況 1. 機関内規程 1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 □ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 機関内規程が定められていない。 2) 自己点検の対象とした資料 ・新潟工科大学食品機能開発研究センター規程(平成25年3月22日制定) ·新潟工科大学動物実験規程(平成24年5月29日制定) 3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。) 機関内規程が適正に定められている。 4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。 2. 動物実験委員会 1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 □ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験委員会は置かれていない。 2) 自己点検の対象とした資料 ・新潟工科大学食品機能開発研究センター規程(平成25年3月22日制定) ・新潟工科大学動物実験規程(平成24年5月29日制定) ・新潟工科大学食品機能開発研究センター運営委員会名簿 3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。) 食品機能開発研究センター運営委員会が適正に設置されている。 4) 改善の方針、達成予定時期

特になし。

3. 動物実験の実施体制
(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)
1)評価結果
■ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
□ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
□ 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料
新潟工科大学動物実験規程(平成24年5月29日制定)
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。)
動物実験規程に適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期
特になし。
4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制
(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)
1)評価結果
□ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 ■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
□ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
□ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 ■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
■ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。)
4)改善の方針、達成予定時期
5. 実験動物の飼養保管の体制
(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、同施設に実験動物管理者が置かれているか?)
1)評価結果
■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
□ 多くの改善すべき問題がある。

・新潟工科大学動物実験規程(平成 24 年 5 月 29 日制定)
・新潟工科大学食品機能開発研究センター利用マニュアル(平成 24 年 7 月 4 日制定)
・新潟工科大学食品機能開発研究センターにおける地震等災害発生時の対応マニュアル
(平成24年7月4日制定)
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)
食品機能開発研究センターに動物飼育室が適正に設置されている。
4) 改善の方針、達成予定時期
特になし。
6. その他(動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)
Mts.) 7 - 4 \]
特になし。
Ⅲ.実施状況
II. 美胞认优
1. 動物実験委員会
1. 動物実験委員会 (動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)
1. 動物実験委員会 (動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?) 1)評価結果
 動物実験委員会 (動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?) 計価結果
 動物実験委員会 (動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?) 計価結果
 動物実験委員会 (動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?) 評価結果
 動物実験委員会 (動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?) 計価結果
 動物実験委員会 (動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?) 評価結果 基本指針に適合し、適正に機能している。 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 多くの改善すべき問題がある。 自己点検の対象とした資料
 動物実験委員会 (動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?) 評価結果
 動物実験委員会 (動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?) 評価結果 基本指針に適合し、適正に機能している。 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 多くの改善すべき問題がある。 自己点検の対象とした資料
 動物実験委員会 (動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?) 評価結果 基本指針に適合し、適正に機能している。 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 多くの改善すべき問題がある。 自己点検の対象とした資料 新潟工科大学食品機能開発研究センター運営委員会名簿 食品機能開発研究センター運営委員会議事概要(第13回:令和6年9月20日)
 動物実験委員会 (動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?) 評価結果
 動物実験委員会 (動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?) 評価結果 基本指針に適合し、適正に機能している。 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 多くの改善すべき問題がある。 自己点検の対象とした資料 新潟工科大学食品機能開発研究センター運営委員会名簿 食品機能開発研究センター運営委員会議事概要(第13回:令和6年9月20日)

4) 改善の方針、達成予定時期
特になし。
1416-200
2. 動物実験の実施状況
(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)
1)評価結果
■ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
□ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
・新潟工科大学動物実験計画書(承認番号 23・24)
・食品機能開発研究センター運営委員会議事概要(第13回:令和6年9月20日)
・動物実験計画の承認について(令和6年9月24日付け稟議書)
・動物実験終了報告書(承認番号 23・24)
・動物実験結果報告書(承認番号 23・24)
・実験動物飼養保管報告書(承認番号 23・24)
・令和6年度 自己点検報告書(動物実験実施状況)
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)
動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期
特になし。
3. 安全管理を要する動物実験の実施状況
(当該実験が安全に実施されているか?)
1) 評価結果
□ 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。
□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
□ 多くの改善すべき問題がある。
■ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料

3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)
4) 改善の方針、達成予定時期
4. 実験動物の飼養保管状況 (実験動物管理者の活動は適切か?飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)
1) 評価結果
■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
□ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
- ・新潟工科大学食品機能開発研究センター利用マニュアル(平成 24 年 7 月 4 日制定)
・ 令和 6 年度 自己点検報告書(実験動物飼養保管施設管理状況)
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)
飼養保管が適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期
特になし。
5. 施設等の維持管理の状況
(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか?修理等の必要な施設や設備に、改
善計画は立てられているか?)
1) 評価結果
■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。
□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
□ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
令和6年度 自己点検報告書(実験動物飼養保管施設管理状況)
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)
食品機能開発研究センターは適正に維持管理が実施されている。

4)	改善の方針、達成予定時期
	特になし。
6.	教育訓練の実施状況
	(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)
1)	評価結果
	■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
	□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
	□ 多くの改善すべき問題がある。
2)	自己点検の対象とした資料
	動物実験責任者からの教育訓練の実施結果に関する報告(電子メール)
3)	評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)
	動物実験実施者及び飼養者(該当者3人)に対する教育訓練は過年度(令和4年度1人・令和5
	年度 2 人) に適正に実施されていたため、当該年度における教育訓練の実施はありません。
	また、令和5年度より、動物実験責任者が実験動物管理者を兼務しているため、令和6年度の実
	験動物管理者における教育訓練の実施はありません。
4)	改善の方針、達成予定時期
	特になし。
7.	自己点検・評価、情報公開
	(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)
1)	評価結果
	■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
	□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
	□ 多くの改善すべき問題がある。
2)	自己点検の対象とした資料
	新潟工科大学ホームページ (大学概要 ▶ 情報公開 ▶ 4. その他「(1) 動物実験関係」)
3)	評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)

情報公開を平成25年度から実施している。

4) 改善の方針、達成予定時期

特になし。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

特になし。

令和6年度 自己点検報告書(動物実験実施状況)

						提出	日			R7.3	3.31		
		(所属)	食品	·環境化学	学系								
動物]実験責任者	(氏名)	久保	田 真敏		(職名)		准教	授				
		(連絡先][[]	0257-	-22-8108		(e-mail)		m.ku	bota	a@niit.	ac.jp		
研究課題		デンプング変動が食	分解米胚乳 事誘導性原	.タンパク! 肥満モデノ	質の摂取に レマウスのII	よる腸内細菌叢 巴満に与える影	め 響	承認	番号	第	23	号	
動物実験の実施期間			R6.9.24		~	R7.3.31							
使用動物種		C57BL/6マウス(雄性)								66	3		
							左の動物数						
		総合的に見	て、適正に	実施すること	とができたか。		abla	良好		nenn			
1.	総合的実施状況												
2.	動物の選択	使用動物種	は適正であ	ったか。また	た、動物を適正	Eに用いたか。	Ø	良好		改善す	できょ	点があ	うった
	動物数の削減	使用動物数	(実験使用	数及び繁殖	数)の削減に	努めたか。	Ø	良好		改善す	できょ	点があ	うった
3.													
	動物の選択苦痛軽減	動物の苦痛	野軽減、排除	及び安楽死	を適正に行っ	たか。	Ø	良好		改善す	できょ	点があ	うった
4.	動物の選択占備軽減 及び安楽死												
	++=0.65 o TUT	動物飼育室	E及び動物処	虚室を適コ	Eに使用したか	١,	Ø	良好		改善す	できょ	点があ	うった
5.	施設等の利用												
		動物実験等	における感	染、環境汚	染その他事故	の措置等の有無。	Ø	なし		あり			
6	事故の発生	•発生日日	寺:			被災者名:							
6.		•発生日日	寺:			被災者名:							
		•発生日	寺:			被災者名:							
7.	特記事項												
	意見等	記入日	:	R7.5.26	Ţ	☑ 特に問題なし		下記(の点(こつき	注意を	要する	; >
*	^{息免寺} (委員会記入欄)												

- 1. 研究課題は、実験計画書の「研究課題名」を記入してください。
- 2. 承認番号は、申請書に記載の承認番号を記入してください。
- 3. 動物実験の実施期間は、当初承認時の実験実施期間を記入してください。また、期間の変更がある場合には、通期の実験実施期間を記入してください。
- 4. 項目1から5について、改善すべき点があった場合には、下の枠内にその理由を簡潔に記載してください。
- 5. 項目6について、事故の発生があった場合には、下の枠内に発生日時と被災者名を記入してください。
- 6. 項目7については、必要に応じて記入してください。
- 7. ※の項目については、滋養・薬効研究センター運営委員会が記入するので、記入しないでください。

令和6年度 自己点検報告書(動物実験実施状況)

						提出	日			R7.3	3.31		
		(所属)	食品・エ	環境化学系	Ŕ								
動物	7実験責任者	(氏名)	久保田	真敏		(職名)		准教	授				
		(連絡先TeL	0257-2	22-8108		(e-mail)		m.ku	bota	a@niit.	ac.jr)	
研究		絶食, 再	摂食がラット	<u>ーー</u> -血中パラ	メータに与	える影響		承認	番号	第	24	-	号
動物	ア実験の実施期間		R6.9.24	^		R6.11.21							
		SDラット(雄性)									2	20	
使用]動物種		左の動物数										
	<i>∞</i> Λ <i>t</i> L → <i>t</i> − 1 \ ν □	総合的に見	見て、適正に実	施することが	「できたか。		Ø	良好		nenn			
1.	総合的実施状況												
	動物の選択	使用動物種	重は適正であっ	 ったか。また、	 動物を適正に	 こ用いたか。	abla	良好		改善す	べき	点が	あった
2.													
		使用動物数	数(実験使用数			 めたか。	<u> </u>	 良好		改善す	-べき	点が	あった
3.	動物数の削減											Zinv.	
		51 1L 0 ++ d		- *				<u> </u>	_	-: -: -	ىد «	- , s	- L
4.	動物の選択苦痛軽減 及び安楽死	動物の苦痛 	痛軽減、排除及 ————————————————————————————————————	.ひ安楽外を	適正に行った 	:か。 		良好		改善す	べき	点か	あった
	及仍女采允												
_	佐急佐の利田	動物飼育室	を及び動物処置 しゅうかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん	量室を適正に	使用したか。		\square	良好		改善す	べき	点が	あった
5.	施設等の利用												
		動物実験等	テにおける感染	 、環境汚染 <i>そ</i>	その他事故の	措置等の有無。		なし		あり			
	±+4.0.30.4	•発生日日	-	-		被災者名:							
6.	事故の発生	•発生日				被災者名:						***************************************	
		•発生日	時:			被災者名:							***************************************
7.	特記事項												
	<i>≠</i> □ <i>br</i>	記入日	:	R7.5.26	Ø	特に問題なし		下記(の点に	こつき	主意を	要す	る
*	意見等 (委員会記入欄)												

- 1. 研究課題は、実験計画書の「研究課題名」を記入してください。
- 2. 承認番号は、申請書に記載の承認番号を記入してください。
- 3. 動物実験の実施期間は、当初承認時の実験実施期間を記入してください。また、期間の変更がある場合には、通期の実験実施期間を記入してください。
- 4. 項目1から5について、改善すべき点があった場合には、下の枠内にその理由を簡潔に記載してください。
- 5. 項目6について、事故の発生があった場合には、下の枠内に発生日時と被災者名を記入してください。
- 6. 項目7については、必要に応じて記入してください。
- 7. ※の項目については、滋養・薬効研究センター運営委員会が記入するので、記入しないでください。

令和6年度 自己点検報告書(実験動物飼養保管施設管理状況)

_					提出	<u> </u>			R7.3.31			
		(所属)	食品•環	境化学系	:							
管理	里責任者	(氏名)	久保田	真敏	(職名)		准教	授				
		(連絡先TeL)	0257-22	-8108	(e-mail)		m.ku	bota	a@niit.ac.jp			
承認	恩番号	第	23	号								
飼養	· 是保管施設名称		新潟工科大学食品機能開発研究センター									
1.	総合的管理状況	総合的に見て、	適正に管理	ますることが	できたか。	Ø	良好		改善すべき点	があった		
	動物実験及び	動物を適正に飲	同養・保管し	、動物実験に	に用いたか。	Ø	良好		改善すべき点	れがあった		
2.	飼養保管の状況											
	安全確保	人の安全に配加	慮した適正な	ℷ環境が整値	備されていたか。	Ø	良好		改善すべき点	いあった		
3.												
_	環境保全	適正な環境を約	推持すること	ができたか。	0	Ø	良好		改善すべき点	れがあった		
4.												
		動物実験等にお	おける感染、	環境汚染そ	の他事故の措置等の有無。	Ø	なし		あり			
5.	車数の発生	•発生日時:			被災者名:							
J.	事故の発生	•発生日時:			被災者名:							
		•発生日時:			被災者名:							
6.	特記事項											
	意見等	記入日 :	R	7.5.26	☑ 特に問題なし		下記(の点	こつき注意を要	要する		
*	^{息克寺} (委員会記入欄)											

- 1. 承認番号は、申請書に記載の承認番号を記入してください。
- 2. 項目1から4について、改善すべき点があった場合には、下の枠内にその理由を簡潔に記載してください。
- 3. 項目5について、事故の発生があった場合には、下の枠内に発生日時と被災者名を記入してください。
- 4. 項目6については、必要に応じて記入してください。
- 5. ※の項目については、滋養・薬効研究センター運営委員会が記入するので、記入しないでください。

令和6年度 自己点検報告書(実験動物飼養保管施設管理状況)

					提出	<u> </u>			R7.3.31			
		(所属)	食品·環	境化学系	:							
管理	里責任者	(氏名)	久保田	真敏	(職名)		准教	授				
		(連絡先1年)	0257-22	-8108	(e-mail)		m.ku	bota	a@niit.ac.jp			
承認		第	5 24	号								
飼養			新潟工科大学食品機能開発研究センター									
1.	総合的管理状況	総合的に見て、	適正に管理	まることが	できたか。	Ø	良好		改善すべき点	があった		
2.	動物実験及び 飼養保管の状況	動物を適正に飲	司養・保管し	、動物実験	に用いたか。	Ø	良好		改善すべき点	があった		
۷.												
	安全確保	人の安全に配が	意した適正な	ℷ環境が整値	備されていたか。	Ø	良好		改善すべき点	があった		
3.												
	TIII 1 A	適正な環境を約	掛すること	ができたか	0	Ø	良好		改善すべき点	があった		
4.	環境保全											
		動物実験等にお	3ける感染、	環境汚染そ	の他事故の措置等の有無。	Ø	なし		あり			
5.	事故の発生	•発生日時:			被災者名:							
J.	争似の充生	•発生日時:			被災者名:							
		•発生日時:			被災者名:							
6.	特記事項											
	意見等	記入日 :	R'	7.5.26	☑ 特に問題なし		下記0	の点に	こつき注意を要	する		
*	^{息克寺} (委員会記入欄)				•							

- 1. 承認番号は、申請書に記載の承認番号を記入してください。
- 2. 項目1から4について、改善すべき点があった場合には、下の枠内にその理由を簡潔に記載してください。
- 3. 項目5について、事故の発生があった場合には、下の枠内に発生日時と被災者名を記入してください。
- 4. 項目6については、必要に応じて記入してください。
- 5. ※の項目については、滋養・薬効研究センター運営委員会が記入するので、記入しないでください。